

授業科目	タウンマネジメント論					単位	2		
履 修	選択	関連資格				ナンバリング	TO31505J		
開講年次	3	開講時期	前期	該当DP	DP2-1 DP2-2 DP3-1 DP4-1 DP4-2 DP5-2				
担当教員	美谷 薫								
授業概要	本講義では、「地域社会の課題と政策」を軸に、地域のマネジメントについて考えていきます。具体的には、現代日本におけるそれぞれの地域では、現在どのようなことが課題となっており、それらを解決するためにどのような取組が進められているのかについて、地域住民に一番身近な行政の主体である「市町村」の仕事を中心に考察していきます。 なお、講義に際しては、地方公共団体の職員経験のある教員として、現場での実態を踏まえながら、地域社会の変化やさまざまな地域課題について取り上げていきます。 この授業は遠隔授業として実施します。オンデマンド型(授業内容を各自で学習し、課題を提出するもの)と同時双方向型(オンラインで授業を中継するもの)を組み合わせる形を予定しています。								
学生が達成すべき行動目標	・ 地方自治や地方行政の具体的なしくみや地域社会での役割を理解できている。 ・ さまざまな情報を基に、それぞれの地域社会における課題についての的確に捉えることができる。 ・ 地域社会の課題解決に向けた方策について、自らの考えを説明することができる。								
達成度評価									
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考	
総合評価割合	0	0	60	0	40	0	100		
知識・理解 (DP1-1)									
知識・理解 (DP1-2)									
知識・理解 (DP1-3)									
知識・理解 (DP1-4)									
思考・判断 (DP2-1)			15		5		20		
思考・判断 (DP2-2)			15		5		20		
関心・意欲 (DP3-1)			5		20		25		
関心・意欲 (DP3-2)									
態度(DP4-1)			5				5		
態度(DP4-2)			10				10		
態度 (DP4-3)									
技能・表現 (DP5-1)									
技能・表現 (DP5-2)			10		10		20		
技能・表現 (DP5-3)									
具体的な達成の目安									
理想的レベル				標準的なレベル					
自ら進んで地域社会の課題を把握し、その解決策について提案できる。				地域社会の課題を把握するための手法を身につけ、それを用いて解決策について考えることができる。					
授業計画									
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)	

1	ガイダンス	講義	シラバスの確認(復習)	
2	地域社会の担い手(1): 行政, 議会, 住民	講義	講義内容の復習	60
3	地域社会の担い手(2): 協働, 新しい公共	講義	講義内容の復習	60
4	地域社会を取り巻く環境の変化(1): 都市化の進展と都市問題	講義・実習	講義内容の復習(作業が終わらなかった場合は, 作業の残り分)	60
5	地域社会を取り巻く環境の変化(2): 農山村の過疎化	講義・実習	講義内容の復習(作業が終わらなかった場合は, 作業の残り分)	60
6	地域社会を取り巻く環境の変化(3): 少子高齢化と人口減少社会	講義	講義内容の復習	60
7	地域社会を取り巻く環境の変化(4): 福岡県の事例分析	講義・実習	講義内容の復習(作業が終わらなかった場合は, 作業の残り分)	60
8	地域社会を取り巻く環境の変化(5): 北九州市の事例分析	講義・実習	講義内容の復習(作業が終わらなかった場合は, 作業の残り分), 作業レポートの作成	180
9	地域社会の課題と行政(1): 安全で安心な地域のまちづくり	講義・実習	講義内容の復習(作業が終わらなかった場合は, 作業の残り分)	60
10	地域社会の課題と行政(2): 少子化の進展と子育て支援	講義・実習	講義内容の復習(作業が終わらなかった場合は, 作業の残り分)	60
11	地域社会の課題と行政(3): 高齢化の進展と高齢者福祉	講義・実習	講義内容の復習(作業が終わらなかった場合は, 作業の残り分)	60
12	地域社会の課題と行政(4): 地域産業の活性化	講義・実習	講義内容の復習(作業が終わらなかった場合は, 作業の残り分)	60
13	地域社会の課題と行政(5): 身近な生活インフラの再構築	講義・実習	講義内容の復習(作業が終わらなかった場合は, 作業の残り分), 期末レポートの作成準備	180
14	地域社会の課題と行政(6): 都市構造・地域システムの再構築	講義・実習	講義内容の復習(作業が終わらなかった場合は, 作業の残り分), 期末レポートの作成	240
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				

22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	中学校社会科程度の予備知識は前提とします。そのほかに、日常生活のなかで地域社会や「地元」に関する情報に敏感であってほしいと思います。			
テキスト	指定しません。毎回資料を配布します。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	講義全般にかかわるような参考書はなかなか見当たらないのですが、自分の関心のある地域での、行政の「総合計画」や事業紹介のパンフレットなどは重要な資料になると思います。そのほか、用語解説が中心になりますが、参考文献として以下のものを挙げておきます。 ・ 阿部 斎ほか 2005.『地方自治の現代用語 第2版』学陽書房 ・ 増田 正ほか編 2011.『地域政策学事典』勁草書房 その他の参考図書については、講義中に紹介します。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	講義においては、簡単な統計分析などの作業を実施することがあります。指示があった場合に、色鉛筆(12色程度)、定規、電卓(スマホのアプリレベルで構いません)を用意してください。 受講生の皆さんの興味・関心などに応じて、内容や順番を組み替える可能性があることを、予めご承知おきください。			
達成度評価に関するコメント	ほぼ毎回の講義で、授業の終盤に図表の読み取りや簡単な統計分析などを行います。「レポート外の提出物」はこれらの課題の提出を指しています。また、レポートについては、中間段階での作業レポートと期末レポートの2本を課す予定です。全般的に作業量が多いかと思いますが、その点は予め了解しておいてください。なお、どちらのレポートについても、テーマ設定、作業内容、考察、形式の4項目で評価を行います。			

